

科目責任者 小笠原 裕樹(分析化学研究室)

**■ 教育目的**

薬学研究コース A では、大学内での講義・実習で学んだことを学外の標準実務実習で実践し、そこで見出した新たな問題点や自分に不足していると感じた点などを、学習環境に恵まれた学内で解決を目指したり再び学び補強することを目的とする。また、卒業研究のみでは時間的な制約のために達成することが困難な、講義・実習で学んだことを発展させ、新たな問題に取り組み、課題解決型の学習を行なうことも、このコースの目的である。【卒業認定・学位授与の方針:YD-①、YD-⑥】

**■ 学習到達目標**

各人の取り組む問題を明確に設定し、その解決に向けて受身の学習ではなく、能動的に取り組むことで、生涯学習に繋がるような「学びの姿勢」を身につける。

**■ 準備学習（予習・復習）**

予習：研究に必要な基礎事項、実験手法、原理について、授業や実習の教科書・ノートの該当部分に目を通しておく。

復習：得られた結果によって、何が証明され、何が未解決な問題として残されたか、について熟考する。

**■ 授業形態**

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、実習・フィールドワーク、講義

**■ 授業分担者**

事前に受け入れを申し出た各研究室の教員が指導する。

**■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**

研究に取り組む姿勢と研究成果を指導教員が評価し (60 %)、それに学内発表会での評価 (20 %)、講演会のレポート及び研究報告書の評価 (20 %) を加味し、総合的に評価する。

**■ 教科書**

指導教員の指示に従う。

**■ 参考書**

指導教員の指示に従う。

**■ その他**

外部・内部講師による薬学研究コース A 講演会への出席を義務づける。

実習期間中、指導教員が出欠を確認する。